

目標達成計画

作成日: 平成 25 年 5 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 66 | 新人職員が過半数を占める現状で、業務フローに沿っての業務遂行だけに着目してしまい、利用者様に対しての思いやり、気持ちに対しての配慮が足りず、利用者様に寄りそう笑顔が見られない。 | 職員一人一人が利用者様の気持ちに寄り添い、職員間で明るく楽しい生活ができる環境、ホームの雰囲気のイメージを共有し、その実現に向けて笑顔を決やさず、明るい職場づくりを目指す。 | ユニットの介護理念である『一人一人の気持ちを大切に、笑顔で明るく楽しい生活をお届けします。』を毎日唱和し、各自がホームの代表者であると自覚する事で、健康管理や身だしなみに配慮し、気持ちの良い挨拶が出来る様心掛け、仕事への意欲向上と楽しい生活の実現に努める。 | 2ヶ月 |
| 2 | 36 | 介助のお誘い・声掛けに利用者様のプライバシーへの配慮が欠けている。(排泄介助など羞恥心を見無視するような発言など) | 利用者様の気持ちを尊重し、時と場合に合わせ適切なお声掛けが出来る様、スキルアップを目指す。 | 介護技術研修とともに接遇研修や道徳的な研修をとり入れ、職員一人一人がプライバシーに配慮した介助が出来る様努める。 | 3ヶ月 |
| 3 | 26 | 介護未経験の職員が大半を占めており、ケアプランをチームで作成するまでに至っていないのが現状である。 | 職員一人一人が利用者様の状態を把握し、必要とされるケアやニーズを見つけ出せるスキルを身に着け、それを共有しプランニングにつなげる。 | 日々の実践研修を重ねていき、利用者様の変化を個人記録に落とす事と、申し送り共有することで把握し、全体でアセスメント→ケアプラン作成→モニタリングを行っていき、自己研鑽に努める。 | 6ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。